

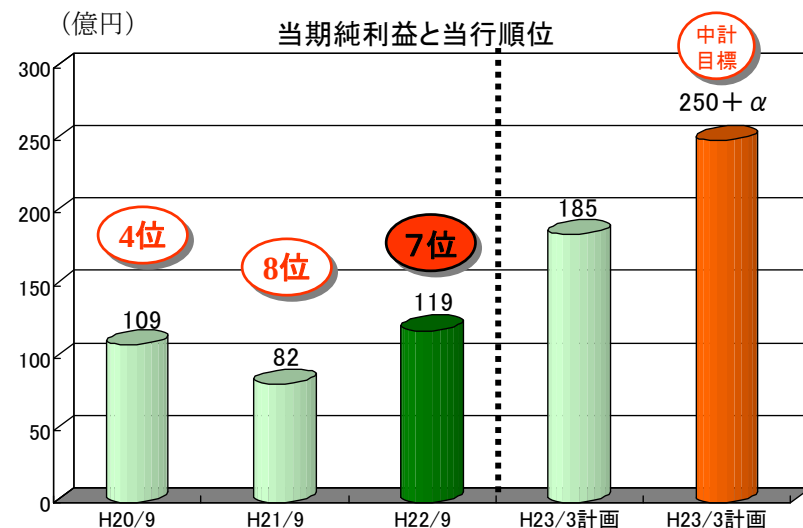
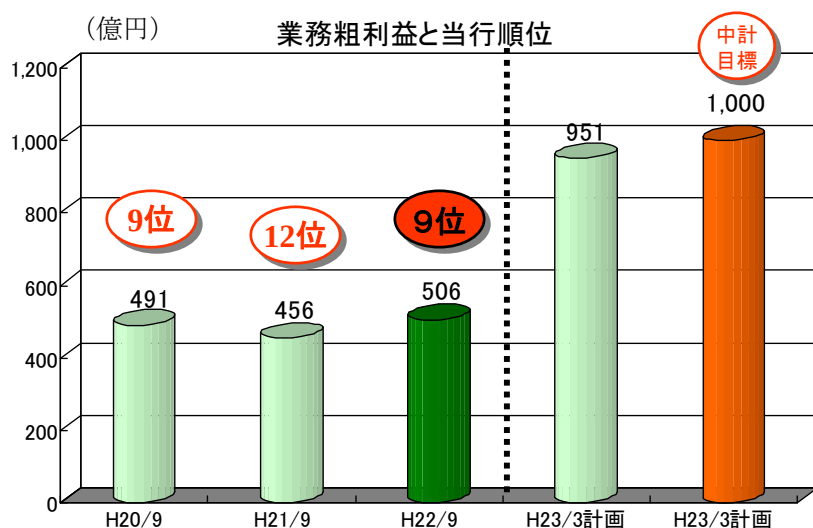
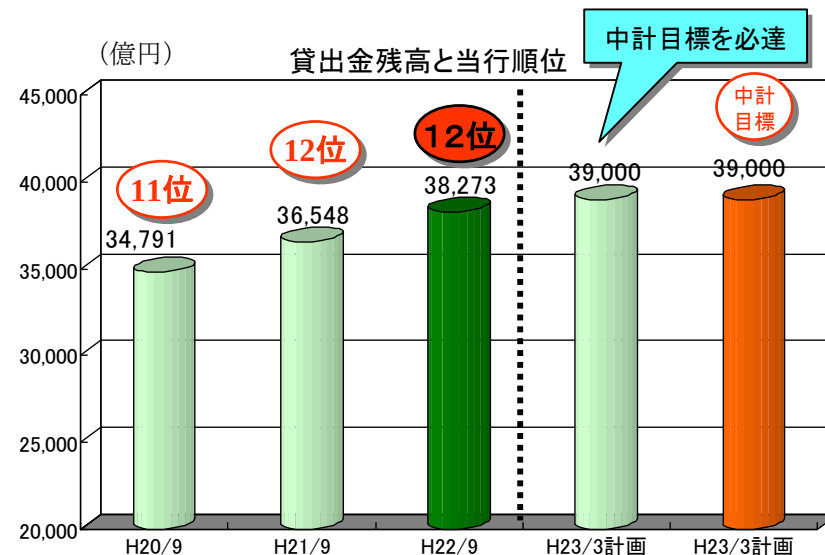
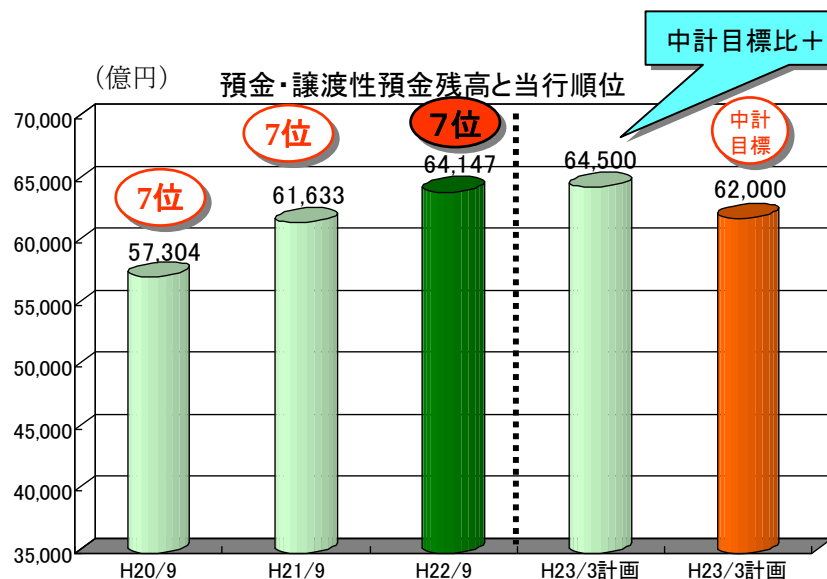
Ⅱ．経営戦略

1. 中期経営計画の進捗状況①計数計画

グランドビジョン
～地銀トップ5入りを目指して～



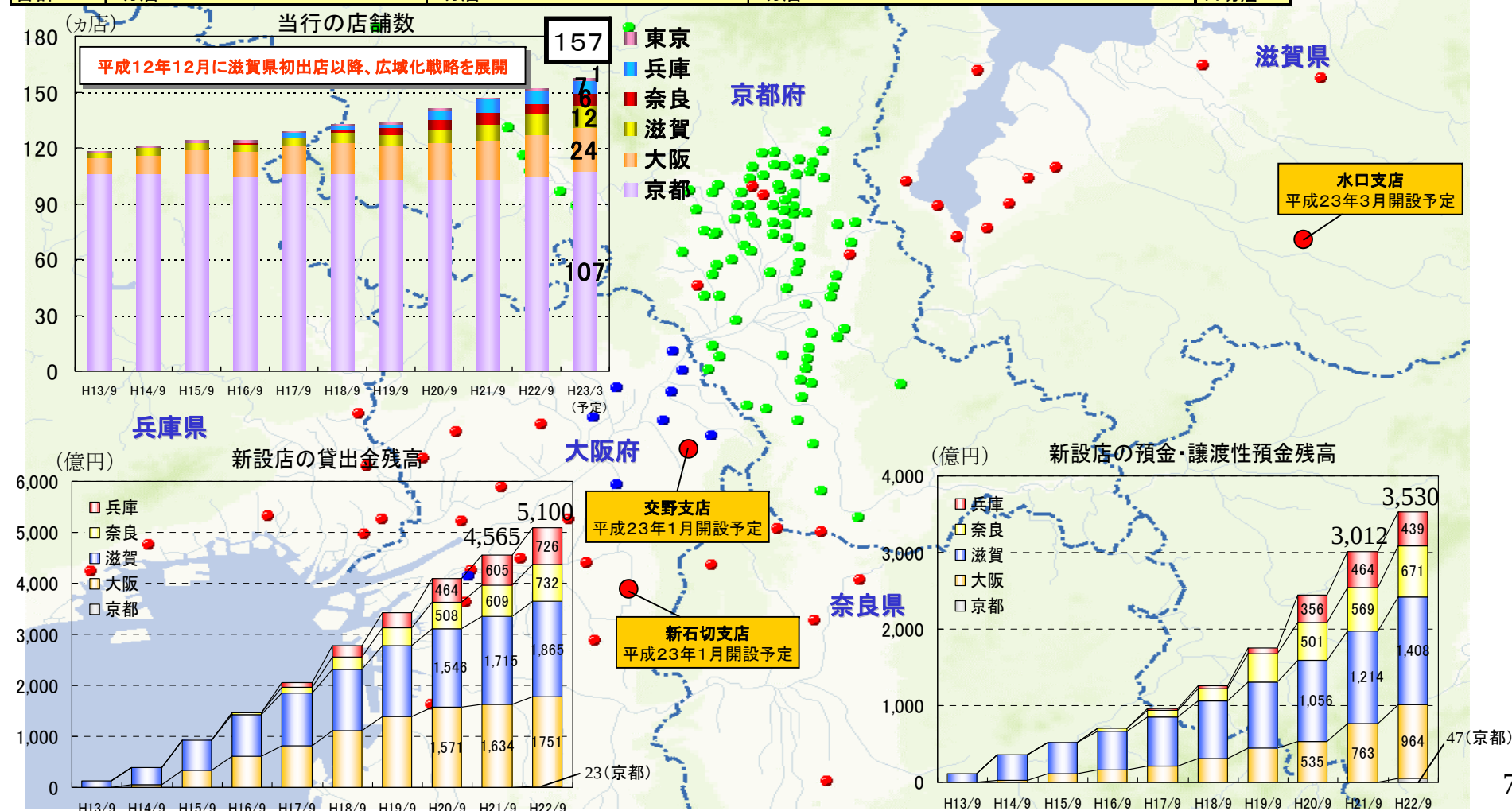
預金・貸出金の量的拡大については、中期経営計画(H20/4～H23/3)最終目標を必達



1. 中期経営計画の進捗状況②店舗戦略

中期経営計画＜3カ年＞期間中に17カ店を新規出店（開設予定含む）

	20年度	21年度	22年度(H22.12.2現在の公表ベース)	合計
京都府		長岡今里支店	円町支店、山科小野支店、二条駅前支店	4カ店
大阪府	堺支店、豊中支店	吹田支店	新石切支店(H23/1予定)、交野支店(H23/1予定)	5カ店
滋賀県	南草津支店	大津支店、石山支店	八日市支店、水口支店(H23/3予定)	5カ店
奈良県		生駒支店		1カ店
兵庫県	伊丹支店	JR尼崎駅前支店		2カ店
合計	4カ店	6カ店	7カ店	17カ店



2. 京都府内の状況①店舗戦略

店舗空白エリア、沿線開発により利用増加が見込めるエリアに積極的に出店

京都府エリアのマーケット

当行の府内店舗数 (H23/3末予定)	107カ店	
人口*1	262万人	(13位)
民営事業所総数*2	13万カ所	(12位)
工場立地動向*3	10件	(33位)
新設住宅着工戸数*4	1.5万戸	(12位)
県内総生産(名目)*5	10.0兆円	(13位)

*1 総務省「人口推計」(平成21年)
 *2 総務省「事業所・企業統計調査」(平成18年)
 *3 経済産業省「工場立地動向調査」(平成21年)
 *4 国土交通省「建築着工統計調査」(平成21年)
 *5 内閣府経済社会総合研究所「県民経済計算」(平成19年)
 () 内は全国順位

二条駅前支店 平成22年10月25日開設



1階が当行の店舗部分

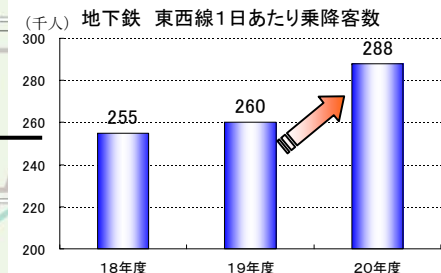


円町支店 平成22年9月13日開設



地下鉄東西線 年表

平成9年10月
醍醐 - 二条間開通
 平成16年11月
六地蔵 - 醍醐間延伸開通
 平成20年1月
二条 - 太秦天神川間延伸開通



出所:京都市HPより、当行作成

山科小野支店 平成22年10月12日開設

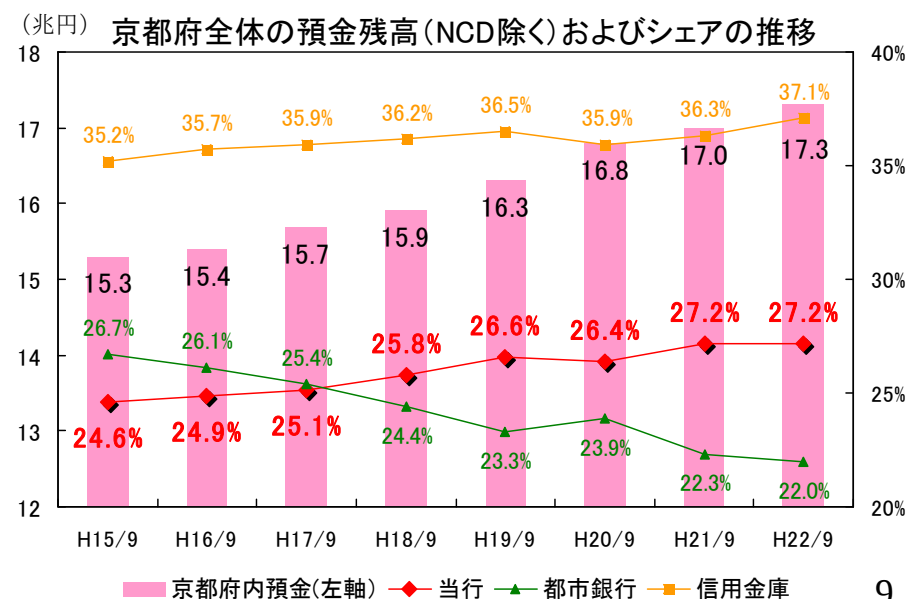
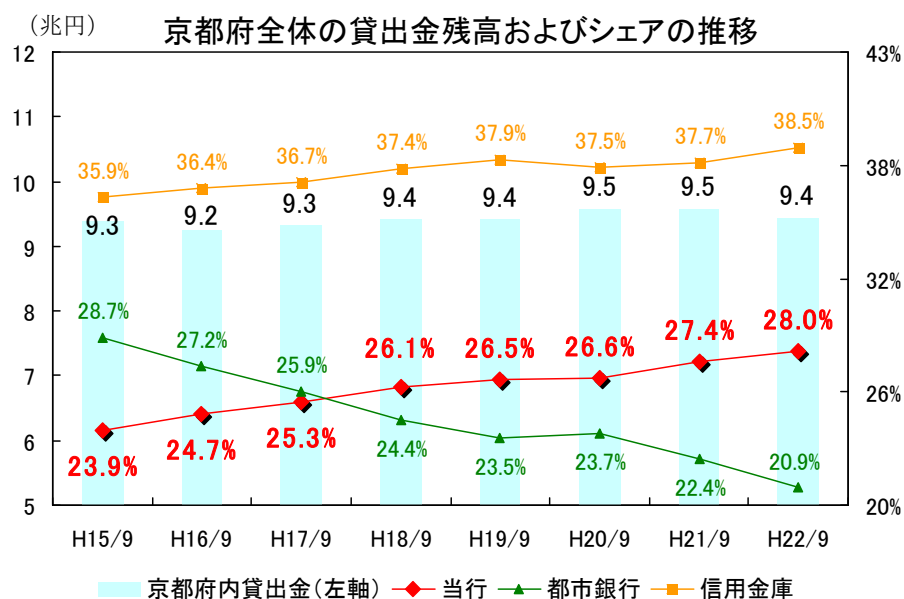
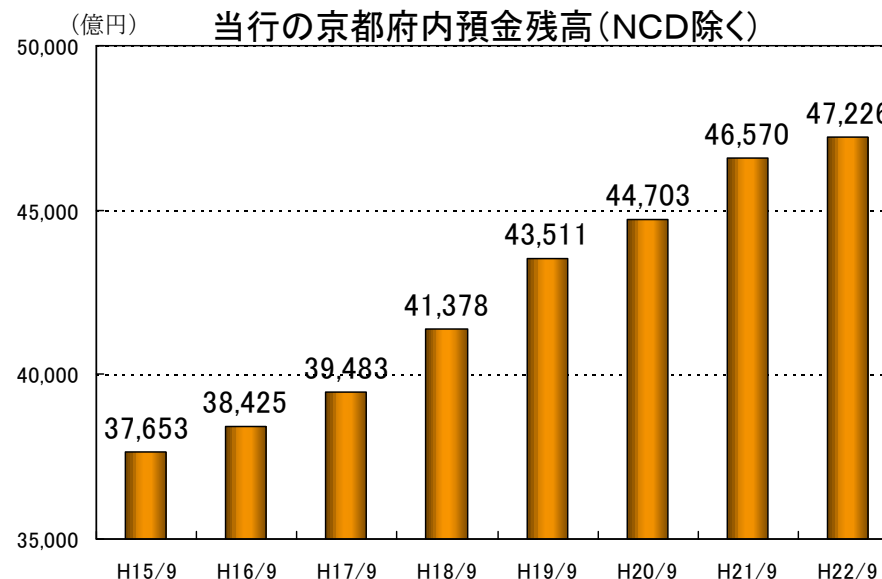
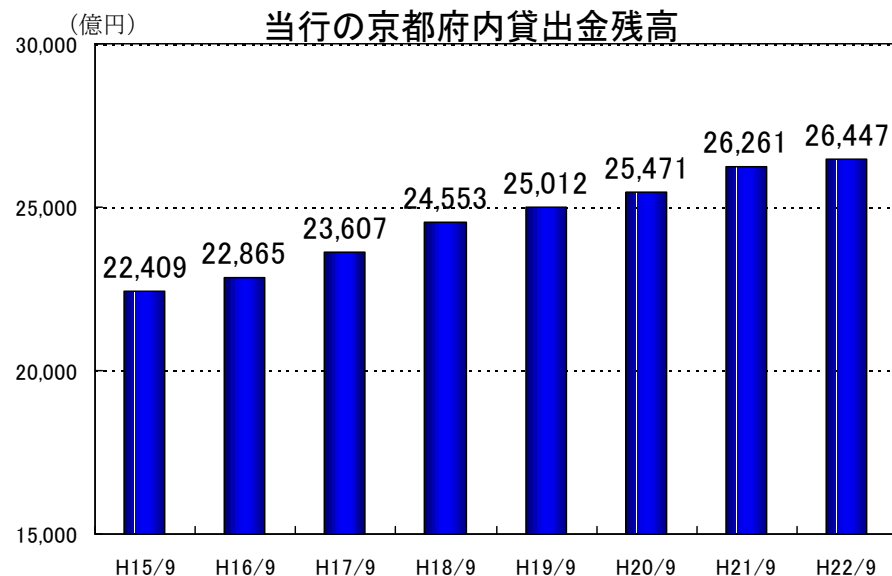


長岡支店 平成23年春 新築建替予定

久御山町支店 平成22年6月14日新築移転

2. 京都府内の状況②貸出金・預金

当行の京都府内預貸金は、ともに増加基調。シェアについても拡大を続ける。



H20/9以降、シェア算出基準変更により各金融機関の預貸金シェアは約0.2%低下

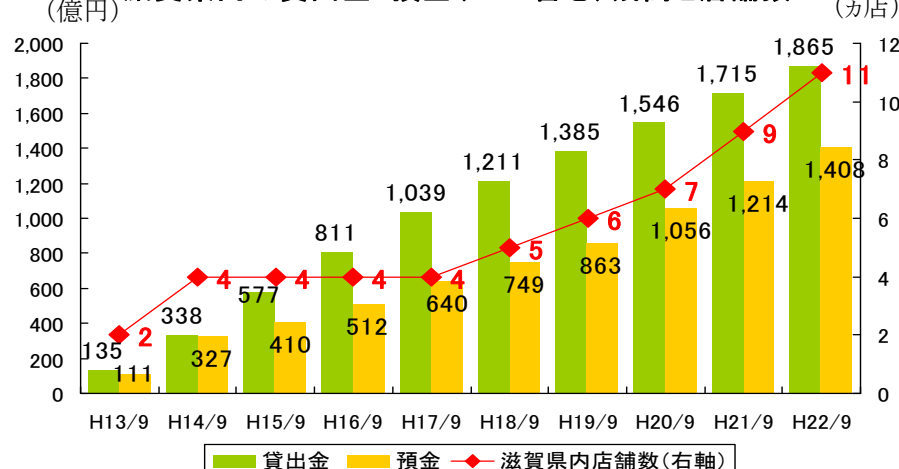
3. 新設店の状況①滋賀県

滋賀エリア進出(平成12年12月草津支店開設)10周年。貸出金シェアは5%を超え、今後10%を目指す。

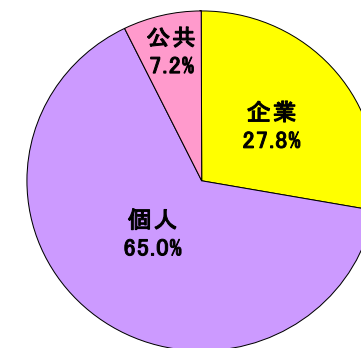
滋賀県エリアのマーケット

当行の県内店舗数 (H23/3末予定)	12カ店
人口	140万人 (28位)
民営事業所総数	5.7万カ所 (35位)
工場立地動向	22件 (17位)
新設住宅着工戸数	0.9万户 (24位)
県内総生産(名目)	6.0兆円 (23位)

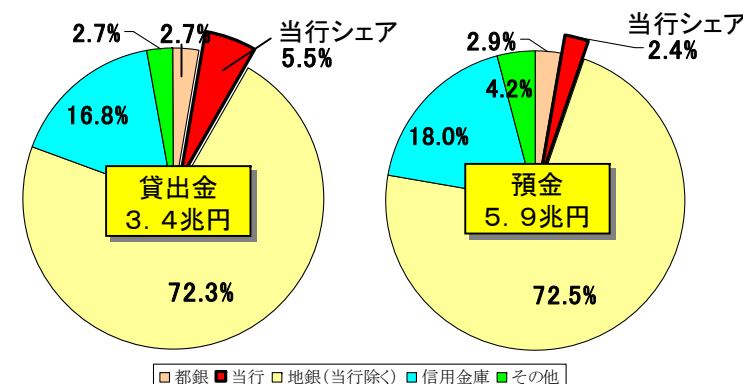
滋賀県内の貸出金・預金(NCD含む)残高と店舗数



貸出金主体別比率
(平成21年度・平残ベース)



滋賀県における貸出金・預金(NCD除く)シェア
(H22/9末)



(出所) 日銀京都支店HP参照。グラフ当行作成。

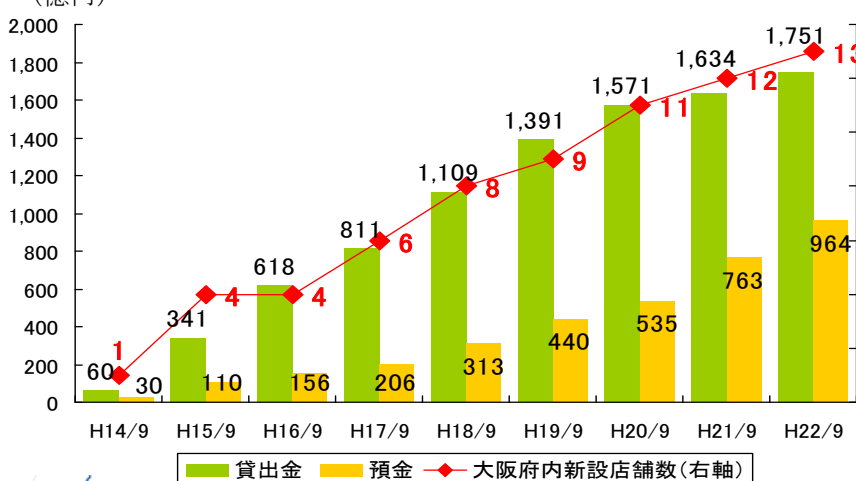
3. 新設店の状況②大阪府

金融激戦区で更に店舗網を拡充し、近畿最大の地銀として存在感を高める。

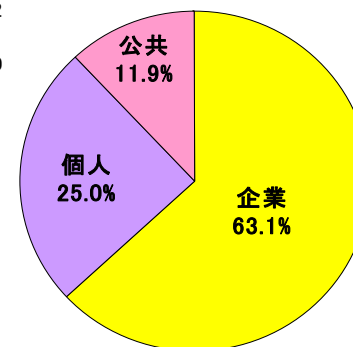
大阪府エリアのマーケット

当行の府内店舗数 (H23/3末予定)	24ヵ店	
人口	880万人	(3位)
民営事業所総数	45万ヵ所	(2位)
工場立地動向	28件	(11位)
新設住宅着工戸数	5.4万戸	(4位)
県内総生産(名目)	38.9兆円	(2位)

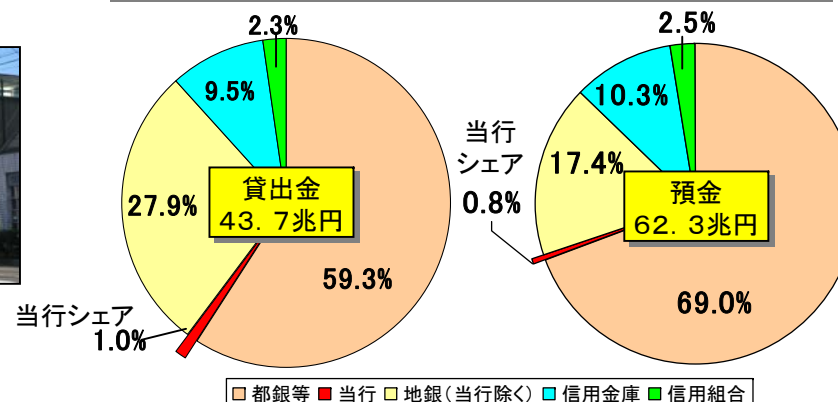
(億円) 大阪府内新設店舗の貸出金・預金(NCD含む)残高と店舗数 (ヵ店)



貸出金主体別比率
(平成21年度・平残ベース)



大阪府における貸出金・預金(NCD含む)シェア
(当行H22/9末、大阪府全体H21/3末)



(出所) 金融ジャーナル 金融マップ2010年版 (全体の預貸金残高は平成21年3月末時点。業態は大手銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合を抽出。地銀には、第二地銀を含む。当行預貸金は平成22年9月末時点の数値でシェア算出)

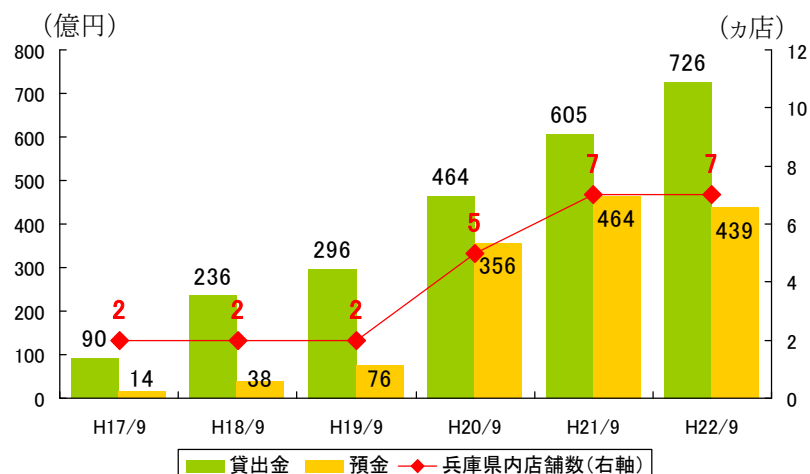
3. 新設店の状況③兵庫県

人口・県内総生産などのマーケットは京都府の約2倍の規模であり、法人・個人バランス良く取引を拡大

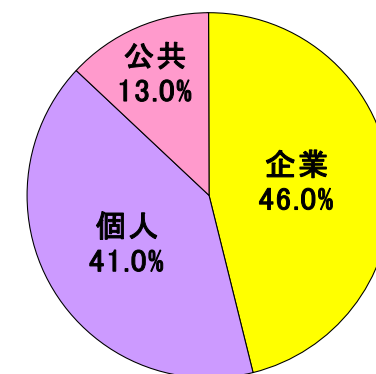
兵庫県エリアのマーケット

当行の県内店舗数 (H23/3末予定)	7ヵ店	
人口	558万人	(7位)
民営事業所総数	23万ヵ所	(7位)
工場立地動向	54件	(1位)
新設住宅着工戸数	3.1万戸	(7位)
県内総生産(名目)	19.1兆円	(7位)

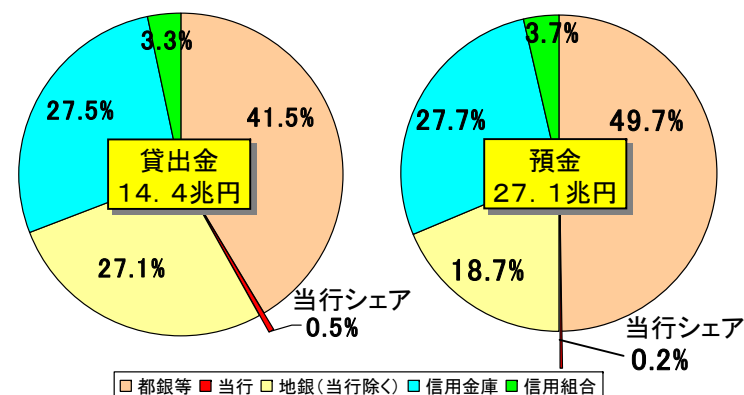
兵庫県内の貸出金・預金(NCD含む)残高と店舗数



貸出金主体別比率
(平成21年度・平残ベース)



兵庫県における貸出金・預金(NCD含む)シェア
(当行H22/9末、兵庫県全体H21/3末)



(出所) 金融ジャーナル 金融マップ2010年版 (全体の預貸金残高は平成21年3月末時点。業態は大手銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合を抽出。地銀には、第二地銀を含む。当行預貸金は平成22年9月末時点の数値でシェア算出)

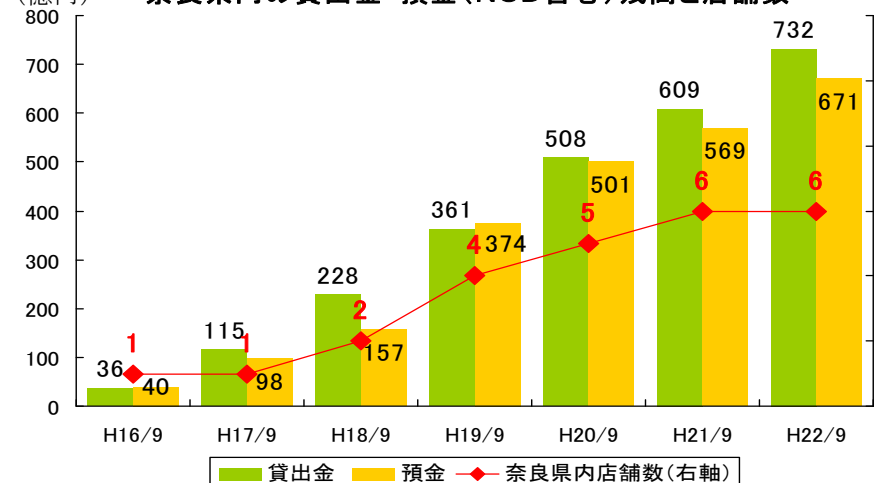
3. 新設店の状況④奈良県

大阪府のベッドタウンとして成長するエリアへ集中的に店舗を設置

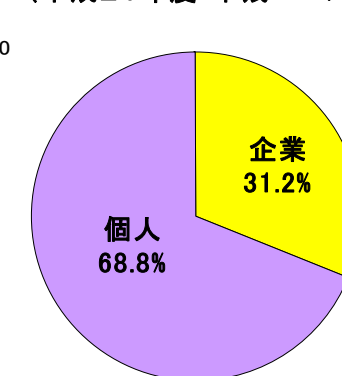
奈良県エリアのマーケット

当行の県内店舗数 (H23/3末予定)	6カ店
人口	139万人 (29位)
民営事業所総数	4.9万カ所 (40位)
工場立地動向	21件 (18位)
新設住宅着工戸数	0.6千戸 (30位)
県内総生産(名目)	3.7兆円 (36位)

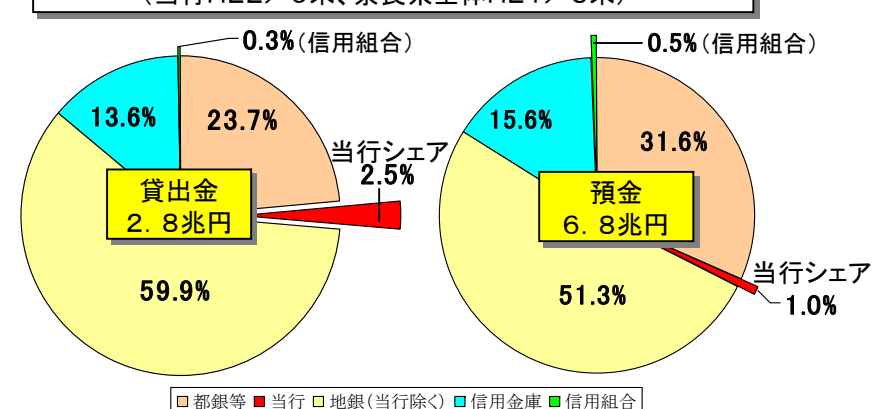
奈良県内の貸出金・預金(NCD含む)残高と店舗数(カ店)



貸出金主体別比率
(平成21年度・平残ベース)



奈良県における貸出金・預金(NCD含む)シェア
(当行H22/9末、奈良県全体H21/3末)

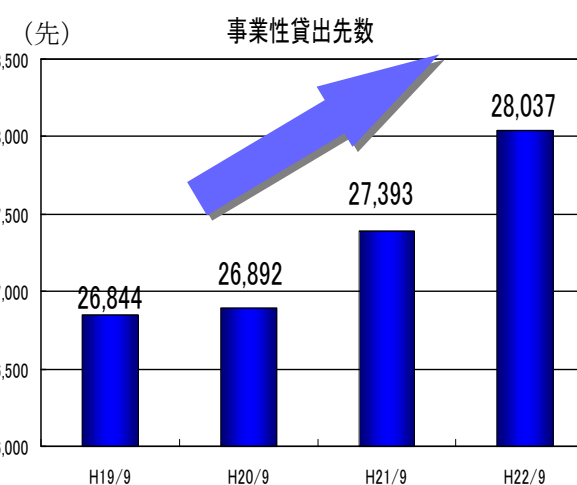
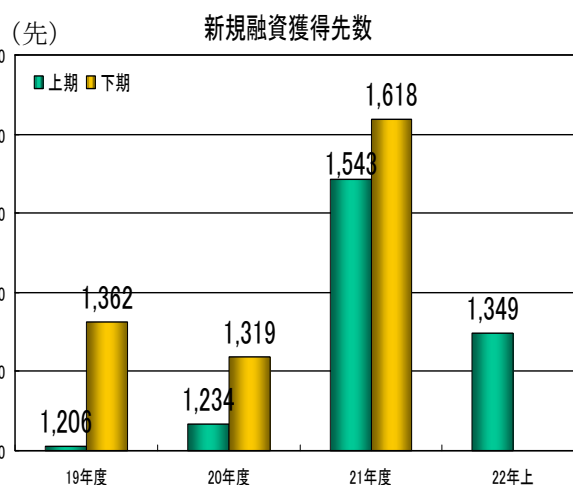
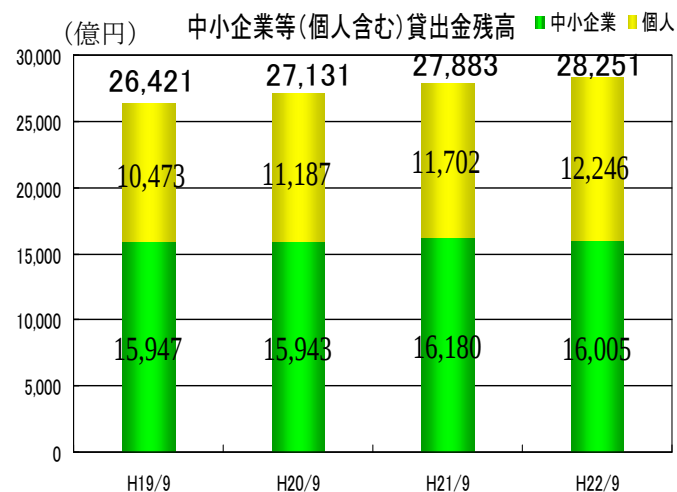


(出所) 金融ジャーナル 金融マップ2010年版 (全体の預貸金残高は平成21年3月末時点。業態は大手銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合を抽出。地銀には、第二地銀を含む。当行預貸金は平成22年9月末時点の数値でシェア算出)

4. 企業取引の強化①地域密着型金融の推進

中小企業等貸出金(個人含む)は年間368億円増加

新規融資先の獲得強化により、事業性融資基盤を拡充

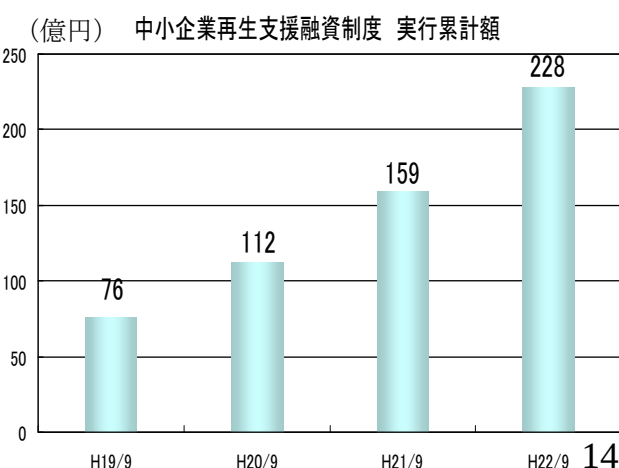
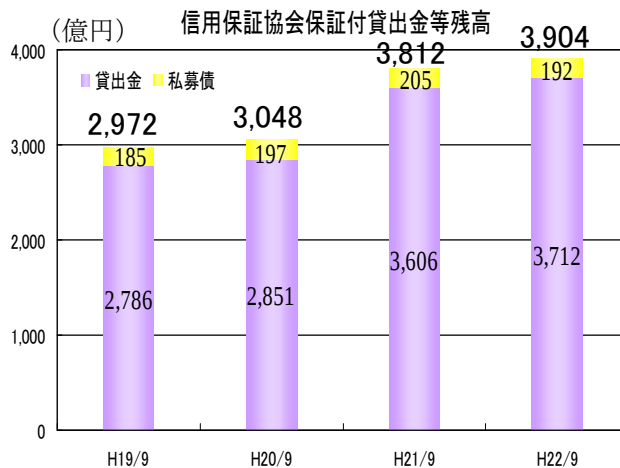
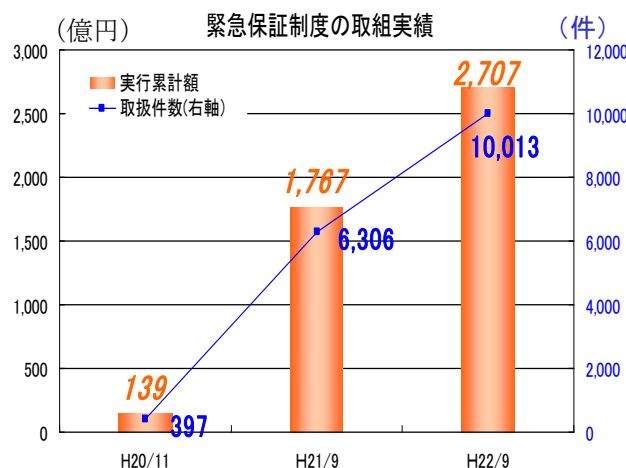


「緊急保証制度」の積極的な活用による 円滑な金融支援

緊急保証制度の実績は 累計10,013件/2,707億円

信用保証協会付貸出金等は年増92億円

地域の再生支援協議会等を活用した再生支援



4. 企業取引の強化②成長分野への支援強化

日本銀行の新資金供給制度を活用した成長基盤強化に向けた取組み

取組名称「地域活性化融資プログラム」

総額70件／71億円の融資取組(平成22年7～9月)

取組上位5分野	分野	件数
1	医療・介護・健康関連事業	32件
2	新たな雇用を伴う設備資金等	13件
3	研究開発、新技術開発資金	6件
4	事業再編・M&A資金	5件
5	地域の観光事業に関する資金	4件

法人部 業種別専門営業部、観光支援室を中心に、業種に対する情報・ノウハウを活かしたコンサルティング営業を展開

法人部 業種別専門営業部

特定法人

医療・福祉

建設・不動産

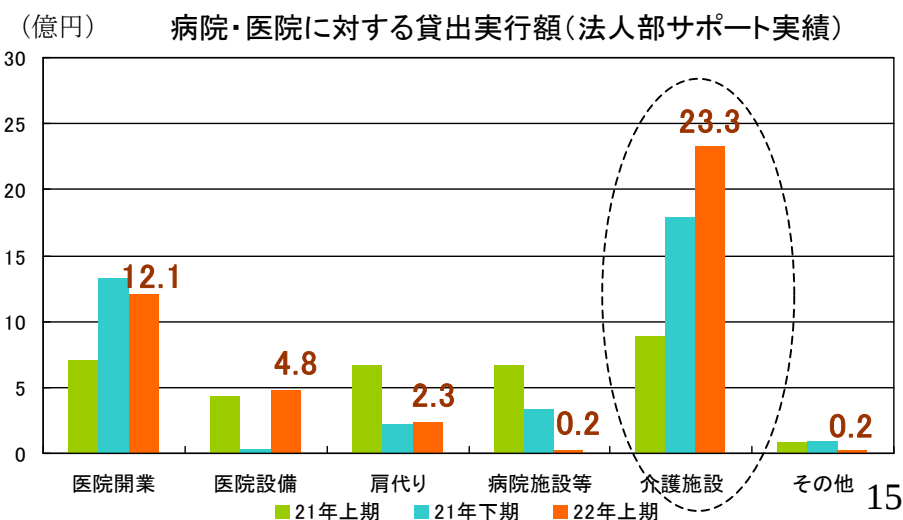
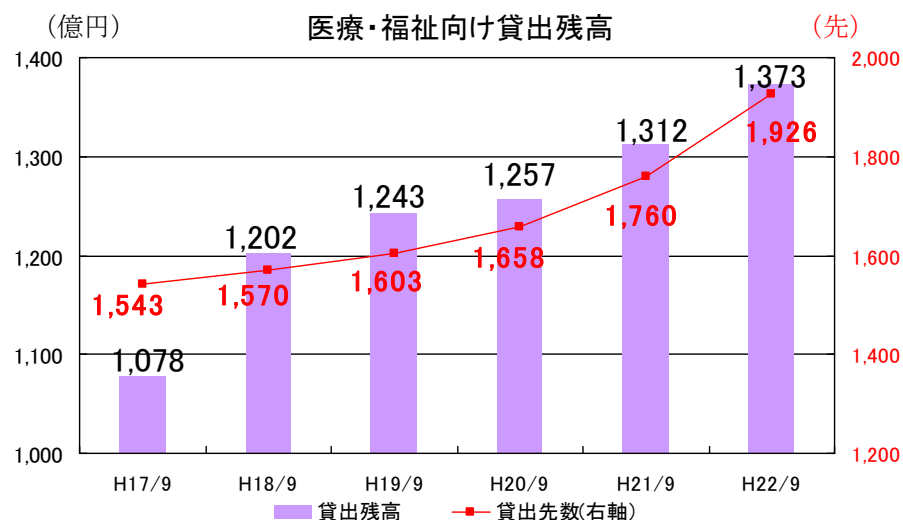
電子部品・機械金属

情報通信・ソフトウェア

バイオ・ナノテク・環境

法人部 観光支援室

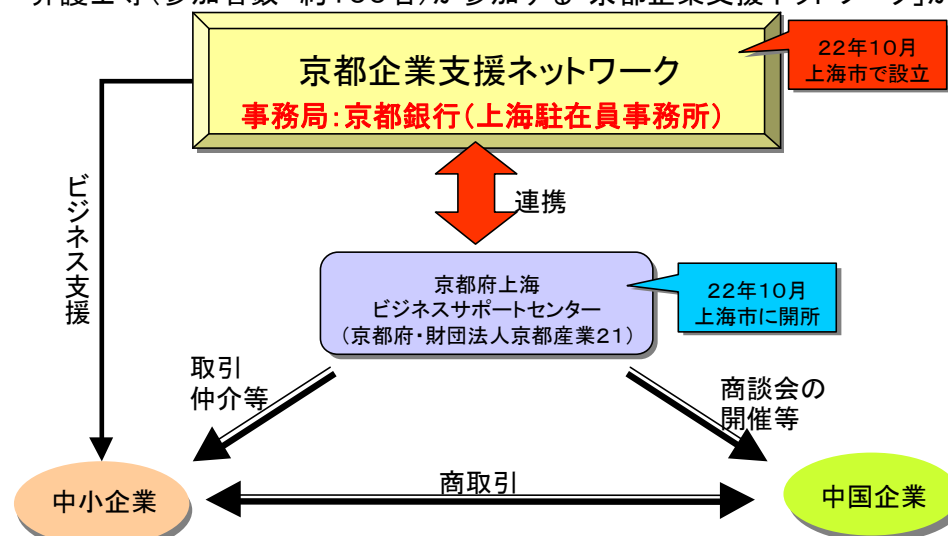
医療関連業種に対しては、行政、医療メーカー、ハウスメーカー等とも連携し、具体的なサポートを実施



4. 企業取引の強化③海外支援の強化

行政と連携し、京都企業の中国進出支援を強化

大手京都企業【オムロン(株)、京セラ(株)、(株)島津製作所、ローム(株)等】や弁護士等(参加者数 約100名)が参加する「京都企業支援ネットワーク」が発足



海外進出企業に対する支援強化

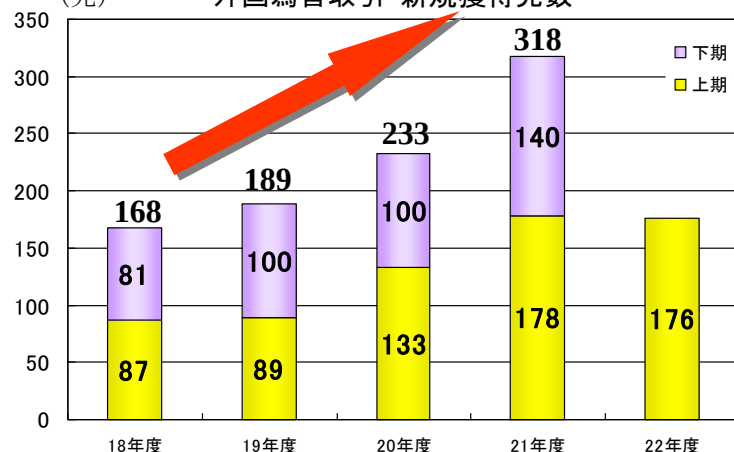
開催時期	イベント	当行取引先の参加企業数
22年1月	「上海ビジネス交流会 2010」開催	45社
22年6月	第3回「香港・華南地区日系企業ビジネス交流会」開催	18社
22年7月	「上海ビジネス交流会 実務セミナー」開催	22社
22年9月	「日中ものづくり商談会@上海2010」開催	22社
22年11月	「2010大連・地方銀行合同ビジネス商談会」開催	12社

部長・支店長全員が中国を視察

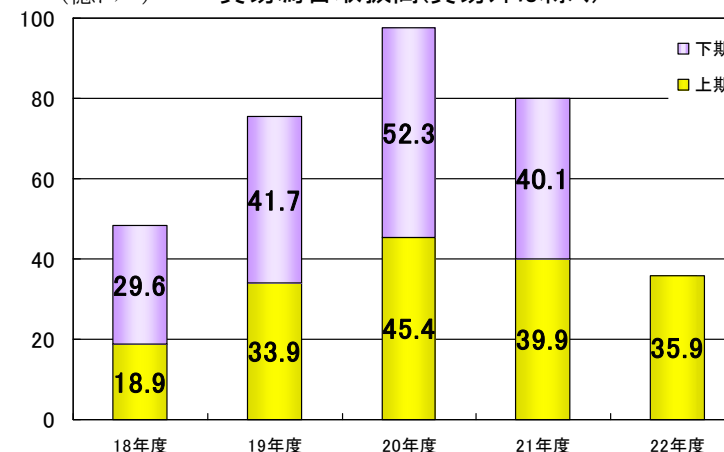
「京都銀行金融大学校」に、海外支援業務強化に向けた「『アジア視察編』支店長講座」をスタート

海外進出企業に対する支援強化により、外国為替取引等を拡大

(先) 外国為替取引・新規獲得先数

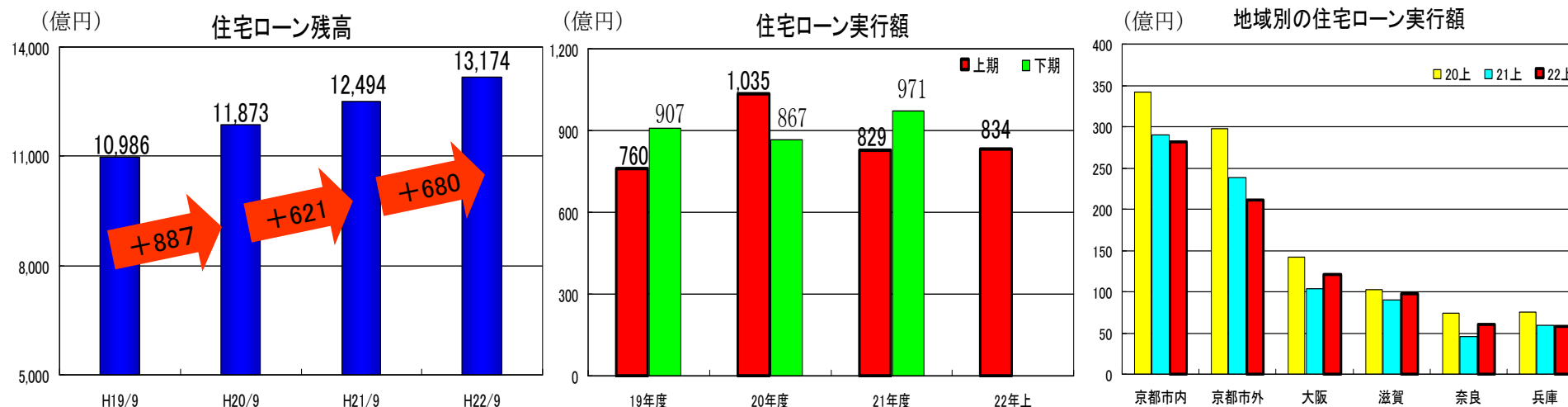


(億ドル) 貿易為替取扱高(貿易外は除く)

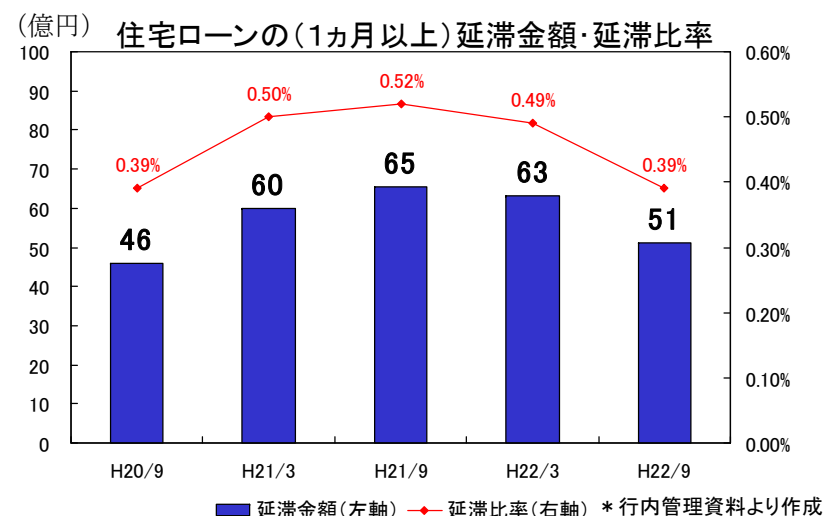
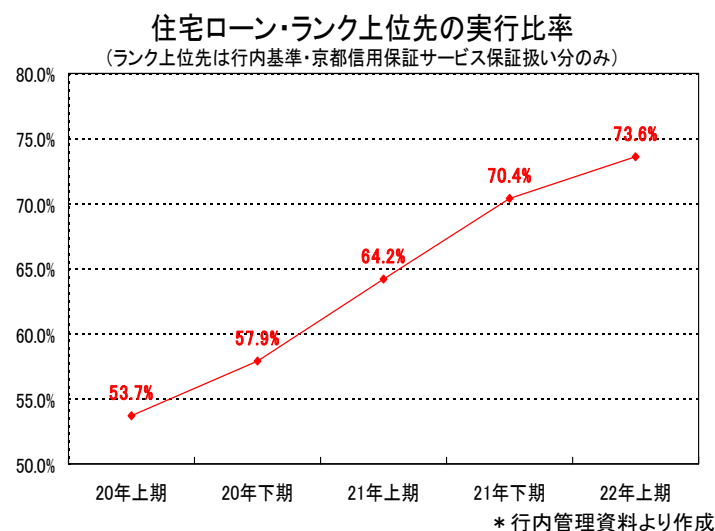


5. 住宅ローンの状況

住宅ローン残高は1兆3,174億円(年増680億円)

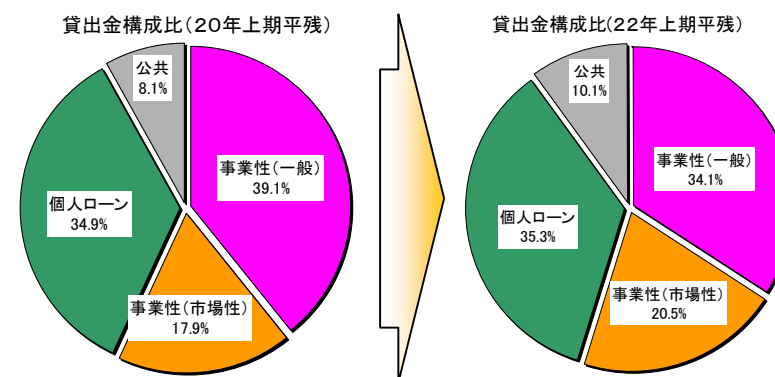
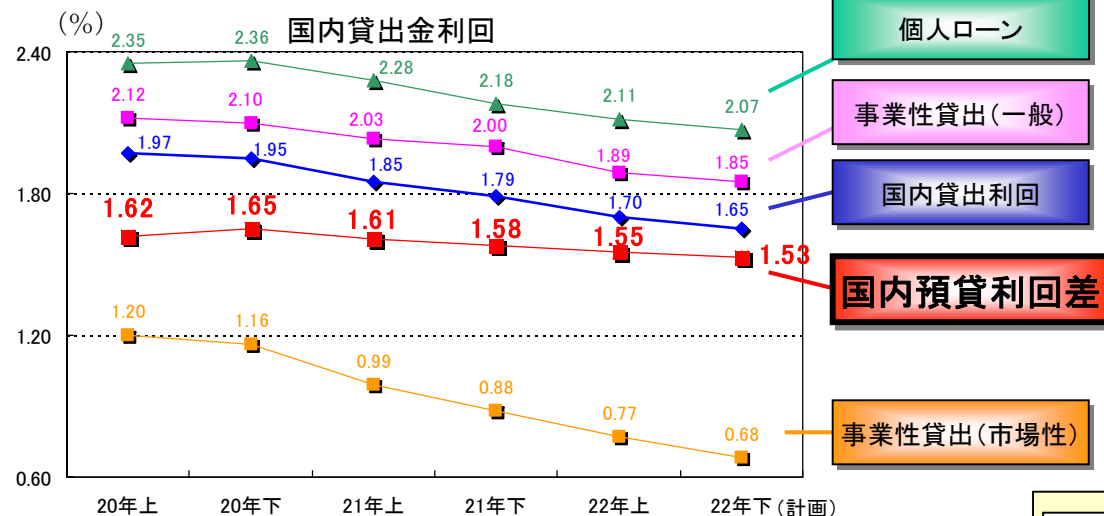


良質案件で住宅ローンを積み上げ。延滞比率は0.39%まで低下。



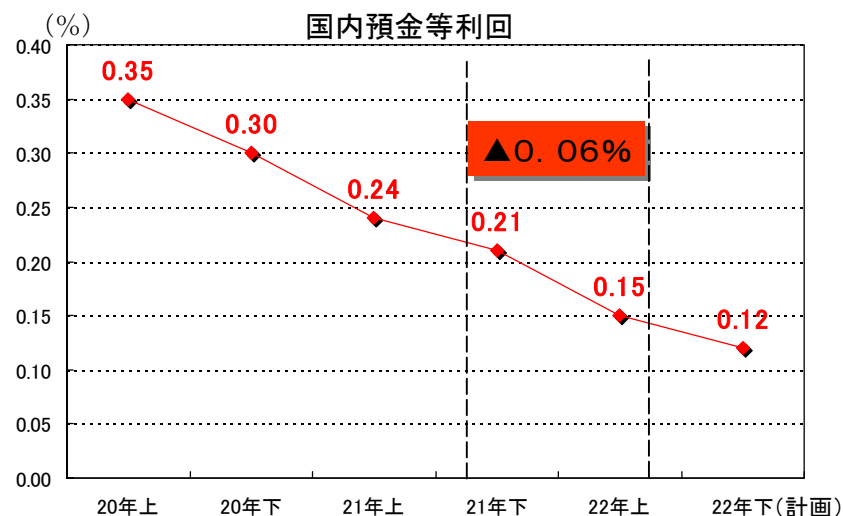
6. 利回と貸出資金利益の状況

貸出金利回

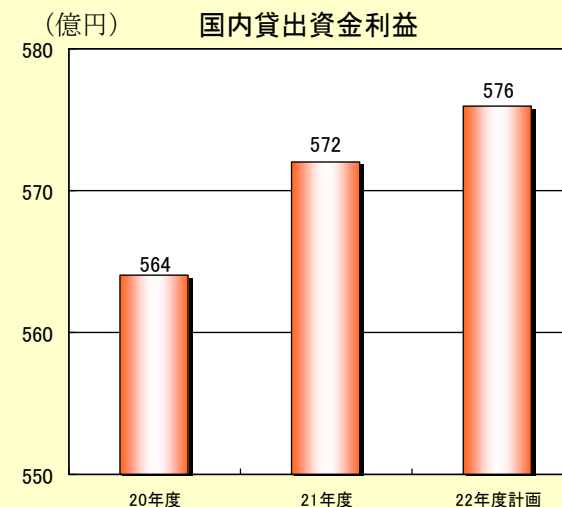


預金等利回

- 22年4月 (1回目) 定期性預金金利の引き下げ
- 22年5月 (2回目) 定期性預金金利の引き下げ
- 22年6月 普通預金金利の引き下げ(0.04%⇒0.02%)
- 22年9月 (3回目) 定期性預金金利の引き下げ



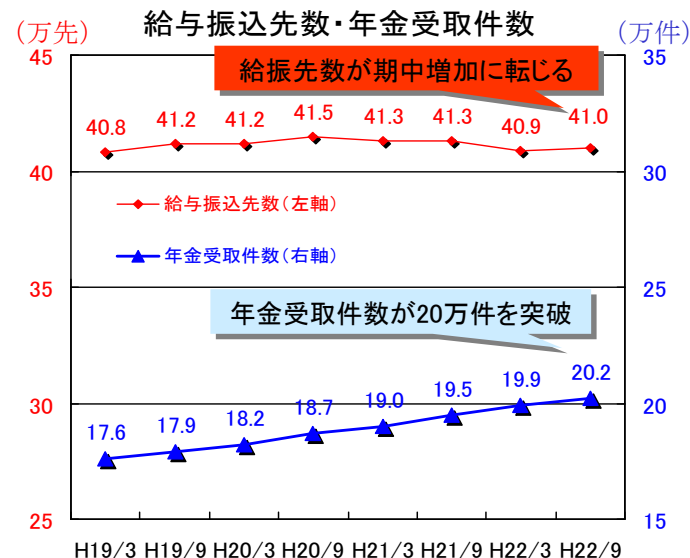
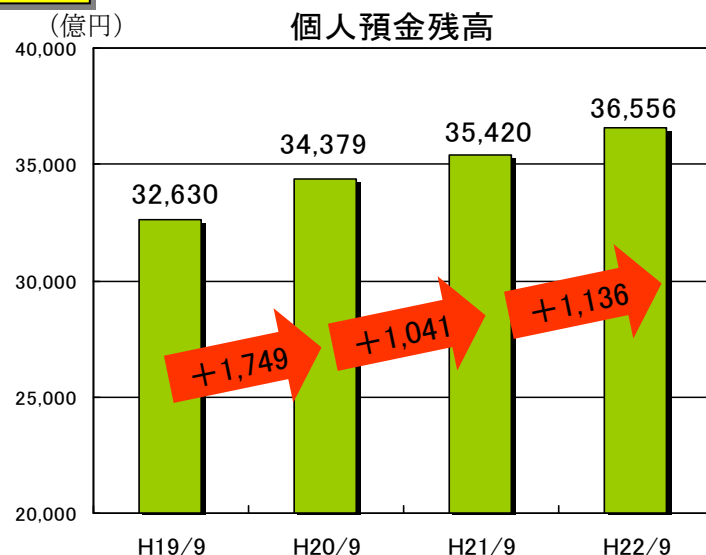
「0.01%」を徹底的にこだわることで、
貸出資金利益を拡大



7. 個人金融資産の拡大

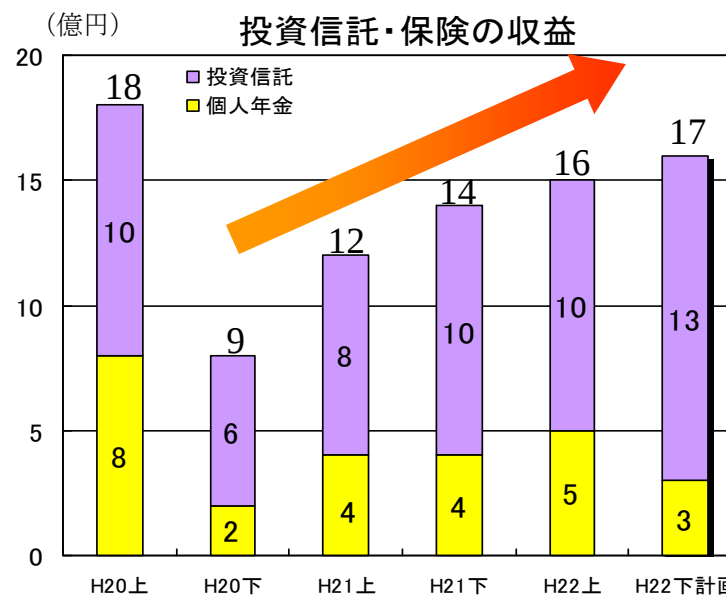
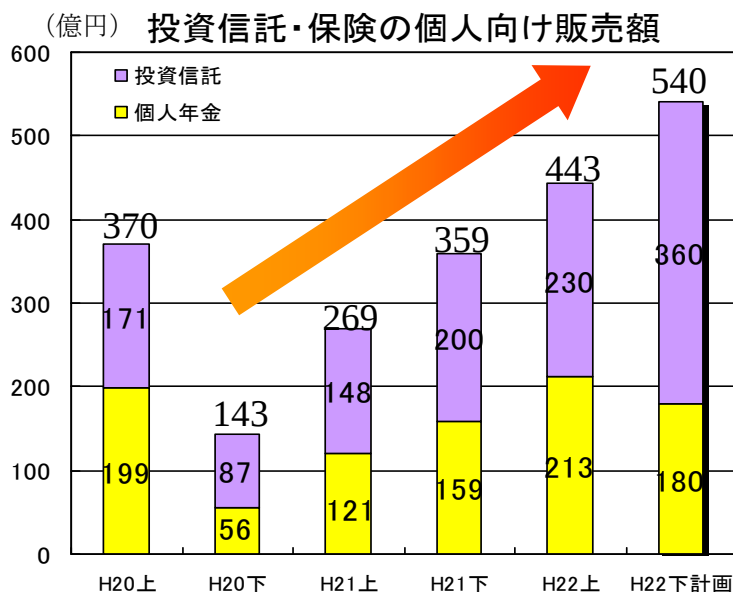
個人預金

給振・年金取引の推進強化により、個人預金残高は増加を続ける。



預り資産

22年上期は一時払終身保険の販売が拡大



8. 社会貢献活動

環境に配慮した店舗づくり

- LED照明と京都産木材を使用した天井ルーバー (円町支店)



- 太陽光発電計測パネル (久御山町支店)



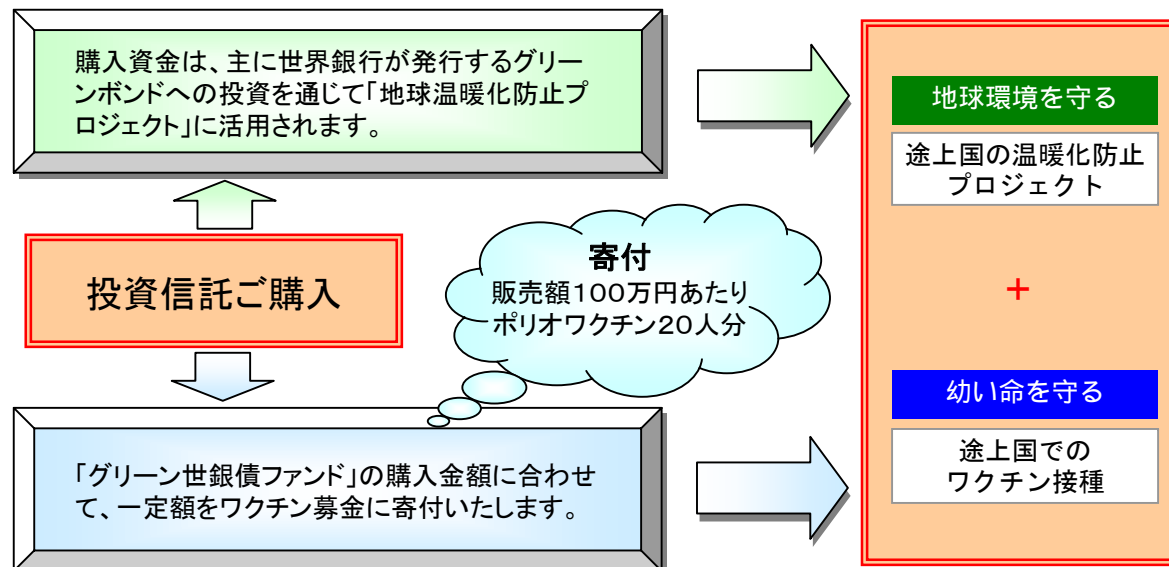
- 滋賀産木材を使用したカウンターとソファ (八日市支店)



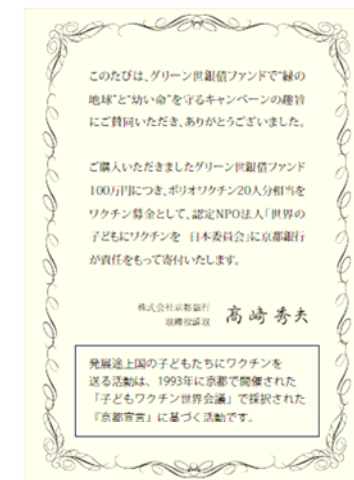
金融商品で社会貢献活動

女性行員によるプロジェクトチーム「なでしこ応援プロジェクト」の企画第2弾！！

投資信託『グリーン世銀債ファンド』で「緑の地球」と「幼い命」を守るキャンペーンを展開



購入者に対し、本キャンペーンへの賛同に謝意を表し、「感謝盾」(パズル&写真立て)を贈呈



この笑顔が、
ずっと続きますように...



京都銀行

9. ナビゲーションを活用した営業支援

店頭営業

双方向ナビゲーション端末

申込書作成不要・印鑑不要、お客さま・行員の
双方向操作による新しい窓口オペレーション体制



iPadを活用して営業強化

～平成22年下期試行開始～

1. ナビゲーション機能で渉外活動をサポート
2. 渉外活動情報を電子化することで渉外業務、帰店後事務等を効率化
3. 他システムとの連携により各種情報を確認しながらの提案が可能
4. 情報セキュリティの強化



渉外活動

渉外ナビゲーションシステム

融資システム

店頭営業から渉外活動へ
ナビゲーション機能の活用を発展

